

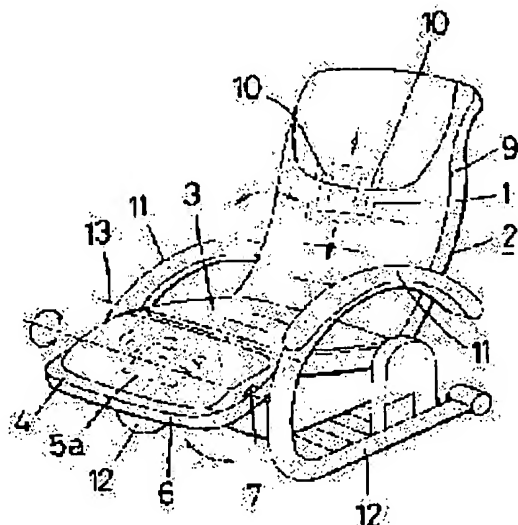
**Japanese Unexamined Patent Publication NO. 2000-308663**

**PUBLICATION DATE :** November 7, 2000  
**APPLICATION NUMBER :** HEI 11-120470  
**INVENTORS :** Masatoshi Owa, Satoru Makita,  
 Hiroyuki Hojo, Masamichi Miyaguchi,  
 Fumihiro Nishio  
**APPLICANTS :** Matsushita Electric Works, Ltd.  
**TITLE :** MASSAGE CHAIR

**ABSTRACT:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To make obtainable various massage effects in the neighborhood of the forward end of leg as occasion requires by providing various kinds of massage devices on the surface and the back of a ottoman part at the front end of the seat part of a massage chair main body, and supporting the ottoman part to be freely reversed.

**SOLUTION:** The ottoman part 4 is set extendingly at the front end of the seat part 3 of a massage chair body 2 having a massage mechanism 1. Various kinds of massage devices 5a are provided on the surface and the back of the ottoman part 4, a support frame 6 is vertically rotatably pivoted on the front end of the seat part 3 of the massage chair body 2, and the ottoman part 4 is supported in the support frame 6 to be freely rotated about the horizontal shaft 7. Sitting on the seat part 3 of the massage chair body 2 to obtain a massage effect on one's back by the massage mechanism 1 in the relaxed state. Various massage effects are obtained according to the physical condition at each time in the neighborhood of the forward end of the leg placed on the ottoman part 4 by various kinds of massage devices on the surface and the back of the ottoman part 4.



**FIG. 1**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-308663  
(P2000-308663A)

(43) 公開日 平成12年11月7日 (2000. 11. 7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームト <sup>*</sup> (参考)
A 6 1 H 15/00	3 5 0	A 6 1 H 15/00	3 5 0 F 4 C 0 7 4
A 4 7 C 7/50		A 4 7 C 7/50	A 4 C 1 0 0
A 6 1 H 23/02	3 3 6	A 6 1 H 23/02	3 3 6

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-120470

(22) 出願日 平成11年4月27日 (1999. 4. 27)

(71) 出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 大輪 昌俊

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 牧田 了

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(74) 代理人 100111556

弁理士 安藤 淳二 (外3名)

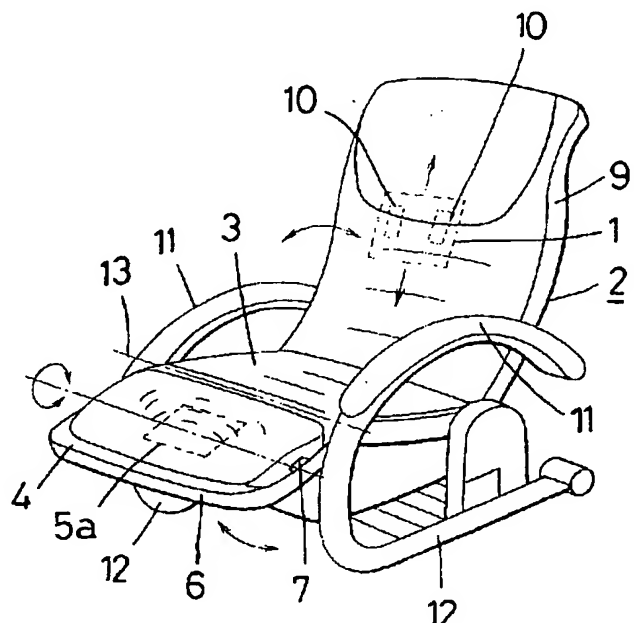
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 マッサージ椅子

(57) 【要約】

【課題】 脚先付近にその時々に応じて異種のマッサージ効果が得られ、飽きのこない効果的なマッサージを行うことができるマッサージ椅子を提供する。

【解決手段】 マッサージ機構1を備えたマッサージ椅子本体2の座部3前端にオットマン部4を延設してなるマッサージ椅子であって、オットマン部4の表裏に異種のマッサージ装置5a、5bを装設して、このオットマン部4を表裏反転自在に支持してなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 マッサージ機構を備えたマッサージ椅子本体の座部前端にオットマン部を延設してなるマッサージ椅子であって、オットマン部の表裏に異種のマッサージ装置を装設して、該オットマン部を表裏反転自在に支持してなるマッサージ椅子。

【請求項 2】 マッサージ椅子本体の座部前端に支持枠を上下回動自在に枢着延設し、該支持枠内にオットマン部を水平軸を中心に回転自在となるよう支持したことを特徴とする請求項 1 記載のマッサージ椅子。

【請求項 3】 オットマン部を所望の角度に保持する固定手段を水平軸に設けたことを特徴とする請求項 2 記載のマッサージ椅子。

【請求項 4】 マッサージ装置の動作中にオットマン部が水平軸を中心にスイング回転動作するようになったことを特徴とする請求項 2 記載のマッサージ椅子。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、マッサージ機構を備えたマッサージ椅子本体の座部前端にオットマン部を延設してなるマッサージ椅子に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来から、図 9 に示す如く、マッサージ機構 1 を備えたマッサージ椅子本体 2 の座部 3 前端にオットマン部 4 を延設してなるマッサージ椅子は知られている。この場合、座部 3 後端に背もたれ部 9 が傾斜角度調整自在に立設されており、同座部 3 の両側にひじ掛けアーム 11 が配設され、該ひじ掛けアーム 11 と略 C 字状に連設され一体となった両側の支持アーム 12 によって、これ等構成を備えたマッサージ椅子本体 2 は床上に設置される。

【0003】 背もたれ部 9 にはもみ、たたき等のマッサージ効果を得ることができるマッサージ機構 1 が上下動作されるように内蔵されており、該マッサージ機構 1 によって着座した使用者の背中を首筋付近から腰付近まで上下にわたりマッサージすることができる。又、座部 3 前端にオットマン部 4 は上下回動自在に枢着延設されており、該オットマン部 4 には脚のふくらはぎ部分をマッサージする機能が備わっている。

【0004】 したがって、この場合、マッサージ椅子本体 2 に着座した使用者は、座部 3 に腰を掛け、背もたれ部 9 にもたれかかった状態で、背中にマッサージ効果を得ることができる。しかも、脚を伸ばしたり曲げたりするのに対応して、オットマン部 4 を上下に回動し、該オットマン部 4 を脚のふくらはぎ部分に沿わせて、該ふくらはぎ部分を同オットマン部 4 によってマッサージすることができる。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来の技術においては、オットマン部 4 が上下首振り状に

回動されるものの表裏反転されるものではなく、該オットマン部 4 によっては常に単一種類のマッサージ効果しか得られず、飽きのこない効果的なマッサージが行われないという問題があった。

【0006】 本発明は、上記従来の技術における問題を悉く解決するために発明されたもので、その課題は、脚先付近にその時々に応じて異種のマッサージ効果を得ることができ、飽きのこない効果的なマッサージを行うことができるマッサージ椅子を提供することである。

10 【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明の請求項 1 記載のマッサージ椅子は、マッサージ機構を備えたマッサージ椅子本体の座部前端にオットマン部を延設してなるマッサージ椅子であって、オットマン部の表裏に異種のマッサージ装置を装設して、該オットマン部を表裏反転自在に支持してなる。

20

【0008】 したがって、この場合、マッサージ機構を備えたマッサージ椅子本体の座部前端にオットマン部が延設されているので、オットマン部上に脚先付近を載せてリラックスした状態でマッサージ椅子本体の座部に着座することができ、該リラックスした状態でマッサージ機構によってマッサージ効果を得ることができる。しかも、オットマン部は表裏反転自在に支持され、該オットマン部の表裏に異種のマッサージ装置が装設されているので、オットマン部上に載せた脚先付近にその時々に応じて異種のマッサージ効果を得ることができ、飽きのこない効果的なマッサージを行うことができる。又、その際、マッサージ効果を異種のものに変更する操作がオットマン部の表裏反転によって簡単に行われるので、該操作における使い勝手性も良好となる。

30

【0009】 本発明の請求項 2 記載のマッサージ椅子は、上記請求項 1 記載のマッサージ椅子において、マッサージ椅子本体の座部前端に支持枠を上下回動自在に枢着延設し、該支持枠内にオットマン部を水平軸を中心に回転自在となるよう支持したことを特徴とする。

【0010】 したがって、この場合は特に、マッサージ椅子本体の座部前端に上下回動自在に枢着延設された支持枠内にオットマン部が水平軸を中心に回転自在となるよう支持されているので、オットマン部は支持枠と共に上下首振り状に回動されるだけでなく、該支持枠に対しても水平軸を中心に回転され、同オットマン部によって脚先付近を適切な状態でより効果的にマッサージすることができる。

【0011】 本発明の請求項 3 記載のマッサージ椅子は、上記請求項 2 記載のマッサージ椅子において、オットマン部を所望の角度に保持する固定手段を水平軸に設けたことを特徴とする。

【0012】 したがって、この場合は特に、支持枠に対して水平軸を中心に回転自在となったオットマン部を所望の角度に保持する固定手段が同水平軸に設けられてい

50

るので、オットマン部を固定手段で所望の角度状態に保持して、脚先付近に適応した良好なマッサージ効果を得ることができる。

【0013】本発明の請求項4記載のマッサージ椅子は、上記請求項2記載のマッサージ椅子において、マッサージ装置の動作中にオットマン部が水平軸を中心にスイング回転動作するようになったことを特徴とする。

【0014】したがって、この場合は特に、マッサージ装置の動作中にオットマン部が水平軸を中心にスイング回転動作されるので、マッサージ装置によるマッサージ効果だけでなく、オットマン部が水平軸を中心にスイングされることによるマッサージ効果をも得ることができ、脚先付近に大きな範囲で変化に富んだマッサージ効果を与えることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】図1、2は、本発明の請求項1、2に対応する一実施形態を示し、該実施形態のマッサージ椅子は、マッサージ機構1を備えたマッサージ椅子本体2の座部3前端にオットマン部4を延設してなるマッサージ椅子であって、オットマン部4の表裏に異種のマッサージ装置5a、5bを装設して、該オットマン部4を表裏反転自在に支持してなる。この場合、マッサージ椅子本体2の座部3前端に支持枠6を上下回動自在に枢着延設し、該支持枠6内にオットマン部4を水平軸7を中心に回転自在となるよう支持している。

【0016】座部3後端には背もたれ部9が傾斜角度調整自在に立設されており、該背もたれ部9にマッサージ機構1が内蔵されている。該マッサージ機構1は上下動作されるもので、その両側に配設された施療子10によってもみ、たたき等のマッサージ効果が得られるものである。同マッサージ機構1によって、着座した使用者の背中を首筋付近から腰付近まで上下にわたりマッサージすることができる。

【0017】又、座部3の両側にひじ掛けアーム11が配設され、該ひじ掛けアーム11と略C字状に連設され一体となった両側の支持アーム12によって、これ等構成を備えたマッサージ椅子本体2は床上に設置される。同座部3前端には支持枠6が枢軸13で上下回動自在に枢着されて延設されており、該支持枠6内にオットマン部4は水平軸7を中心に回転自在となるよう支持されている。又、オットマン部4の表側に装設されるマッサージ装置5aは振動を付与するパイプリータ式のマッサージ機であり、同裏側に装設されるマッサージ装置5bは複数のローラが回転するローリング式のマッサージ機であって、いずれも同オットマン部4に内蔵されている。

【0018】したがって、該実施形態のマッサージ椅子においては、マッサージ機構1を背もたれ部9に備えたマッサージ椅子本体2の座部3前端にオットマン部4が延設されているので、オットマン部4上に脚先付近を載

せてリラックスした状態でマッサージ椅子本体2の座部3に着座することができ、該リラックスした状態で背中 にマッサージ機構1によってマッサージ効果を得ることができる。

【0019】しかも、オットマン部4は表裏反転自在に支持され、該オットマン部4の表裏に異種のマッサージ装置5（5a：パイプリータ式、5b：ローリング式）が装設されているので、オットマン部4上に載せた脚先付近にその時々 の体調等に応じて異種のマッサージ効果を得ることができると共に、飽きのこない効果的なマッサージを行うことができる。

【0020】すなわち、図1に示す状態では、オットマン部4の表側に配設されるマッサージ装置5a（パイプリータ式）によって、脚先付近のふくらはぎ部分を該部分に振動を付与してマッサージすることができ、同オットマン部4を表裏反転させた図2に示す状態では、オットマン部4の裏側に配設されるマッサージ装置5b（ローリング式）によって、脚先付近のふくらはぎ部分を該部分にローラを繰り返し押圧させてマッサージすることができる。又、その際、マッサージ効果を異種のもにに変更する操作がオットマン部4の表裏反転によって簡単に 行われるので、該操作における使い勝手性も良好となる。

【0021】又、該実施形態のマッサージ椅子においては、特に、マッサージ椅子本体2の座部3前端に上下回動自在に枢着延設された支持枠6内にオットマン部4が水平軸7を中心に回転自在となるよう支持されているので、オットマン部4は支持枠6と共に上下首振り状に回動されるだけでなく、該支持枠6に対しても水平軸7を中心に回転され、同オットマン部4によって脚先付近を適切な状態でより効果的にマッサージすることができる。例えば、脚を伸ばしたり曲げたりするのに対応して、オットマン部4を上下に回動し、該オットマン部4の表側或いは裏側を脚先付近のふくらはぎ部分に沿わせて、該ふくらはぎ部分を同オットマン部4によって効果的にマッサージすることができる。

【0022】図3、4は、本発明の請求項1、2に対応する別の実施形態を示し、該実施形態のマッサージ椅子においては、オットマン部4の表側に装設されるマッサージ装置5cがエア圧を繰り返し付与するエア式のマッサージ機であり、同裏側に装設されるマッサージ装置5aが振動を付与するパイプリータ式のマッサージ機である。

【0023】この場合、エア式のマッサージ装置5cは外観上突出してデザイン的に良くないが、該マッサージ装置5cを裏側に反転させて見えないように隠し、体裁良く納めることができる。又、この場合には、エア式のマッサージ装置5cと組み合わせられる反対側のマッサージ装置5として、パイプリータ式のマッサージ装置5aの他、外観上目立たなければローリング式のマッサージ装置5b等その他のマッサージ装置5を採用しても良い。な

お、それ以外は上記図 1、2 に示した実施形態における同様に構成されており、同上記実施形態における同様の作用効果が奏される。

【0024】図 5～7 は、本発明の請求項 1、2、3 に対応する別の実施形態を示し、該実施形態のマッサージ椅子においては、オットマン部 4 を所望の角度に保持する固定手段 8 を水平軸 7 に設けている。この場合、固定手段 8 はオットマン部 4 を支持枠 6 内で回転自在に支持する水平軸 7 の一端に設けられており、該固定手段 8 を回転して締め付けることにより、同オットマン部 4 はその回転が阻止されて所望の角度に保持され、逆に、同固定手段 8 を反対方向へ回転して緩めることにより、同オットマン部 4 は回転自在となるものである。

【0025】したがって、この場合は特に、支持枠 6 に対して水平軸 7 を中心に回転自在となったオットマン部 4 を所望の角度に保持する固定手段 8 が同水平軸 7 に設けられているので、オットマン部 4 を固定手段 8 で所望の角度状態に保持して、脚先付近に適応した良好なマッサージ効果を得ることができる。例えば、図 5 に示す如く、支持枠 6 を略水平状態にしてオットマン部 4 を同支持枠 6 に略同一方向で保持させることにより、脚先付近のふくらはぎ部分をマッサージしたり、図 6 に示す如く、支持枠 6 を略水平状態にしてオットマン部 4 を同支持枠 6 に交差する方向で保持させることにより、伸ばした脚の足裏部分をマッサージしたり、図 7 に示す如く、支持枠 6 を略垂直状態にしてオットマン部 4 を同支持枠 6 に交差する方向で保持させることにより、曲げた脚の足裏部分をマッサージしたりすることができる。なお、それ以外は上記図 1、2 に示した実施形態における同様に構成されており、同上記実施形態における同様の作用効果が奏される。

【0026】図 8 は、本発明の請求項 1、2、4 に対応する別の実施形態を示し、該実施形態のマッサージ椅子においては、マッサージ装置 5 の動作中にオットマン部 4 が水平軸 7 を中心にスイング回転動作するようになっている。この場合、少なくとも一方のマッサージ装置 5 がローリング式等のモータ 14 で駆動されるもので、該モータ 14 の駆動によってオットマン部 4 もスイング回転（揺れ動くような往復的回動）動作されるものであり、該オットマン部 4 と同マッサージ装置 5 とは電氣的に連動される。

【0027】したがって、この場合は特に、マッサージ装置 5 の動作中にこれと連動してオットマン部 4 が水平軸 7 を中心にスイング回転動作されるので、マッサージ装置 5 によるマッサージ効果だけでなく、オットマン部 4 が水平軸 7 を中心にスイングされることによるマッサージ効果をも得ることができ、脚先付近に大きな範囲で変化に富んだマッサージ効果を与えることができる。なお、それ以外は上記図 1、2 に示した実施形態における同様に構成されており、同上記実施形態における同

様の作用効果が奏される。

#### 【0028】

【発明の効果】上述の如く、本発明の請求項 1 記載のマッサージ椅子においては、オットマン部上に脚先付近を載せたりラックスした状態で、該脚先付近にその時々に応じて異種のマッサージ効果を得ることができ、飽きのこない効果的なマッサージを行うことができ、その際、マッサージ効果を異種のものに変更する使い勝手性も良好となる。

10 【0029】又、本発明の請求項 2 記載のマッサージ椅子においては、特に、オットマン部が支持枠と共に上下首振り状に回転されるだけでなく、該支持枠に対しても水平軸を中心に回転され、同オットマン部によって脚先付近を適切な状態でより効果的にマッサージすることができる。

【0030】又、本発明の請求項 3 記載のマッサージ椅子においては、特に、支持枠に対し回転自在となったオットマン部を固定手段で所望の角度状態に保持して、脚先付近に適応した良好なマッサージ効果を得ることが

20 できる。  
【0031】又、本発明の請求項 4 記載のマッサージ椅子においては、特に、マッサージ装置によるマッサージ効果だけでなく、オットマン部がスイングされることによるマッサージ効果をも得ることができて、脚先付近に大きな範囲で変化に富んだマッサージ効果を与えることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施形態であるマッサージ椅子の斜視図。

30 【図 2】同マッサージ椅子の異なる使用状態における要部斜視図。

【図 3】別の実施形態であるマッサージ椅子の斜視図。

【図 4】同マッサージ椅子の異なる使用状態における斜視図。

【図 5】更に別の実施形態であるマッサージ椅子の斜視図。

【図 6】同マッサージ椅子の異なる使用状態における斜視図。

40 【図 7】同マッサージ椅子の更に異なる使用状態における斜視図。

【図 8】更に別の実施形態であるマッサージ椅子の要部斜視図。

【図 9】従来例であるマッサージ椅子の斜視図。

#### 【符号の説明】

- 1 マッサージ機構
- 2 マッサージ椅子本体
- 3 座部
- 4 オットマン部
- 5 マッサージ装置
- 50 6 支持枠

(5)

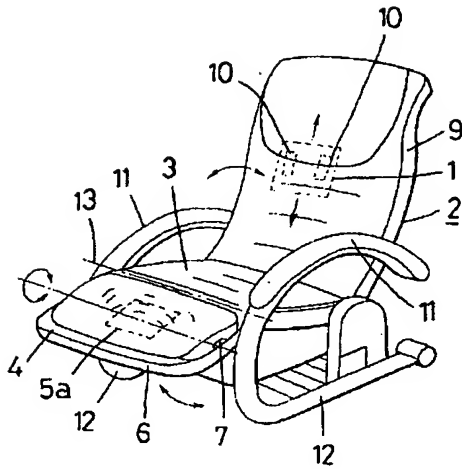
特開 2000-308663

8

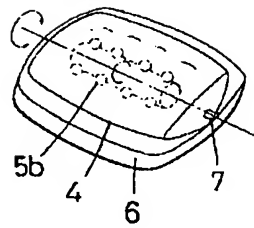
7 水平軸

8 固定手段

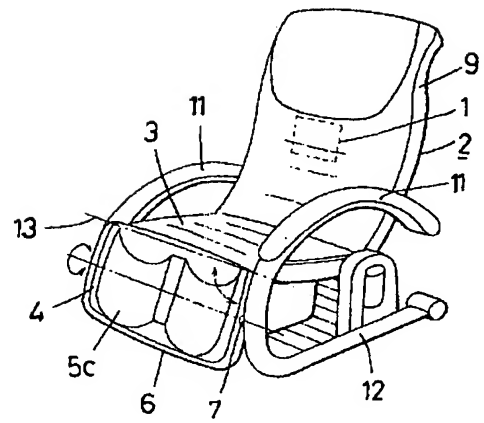
【図 1】



【図 2】

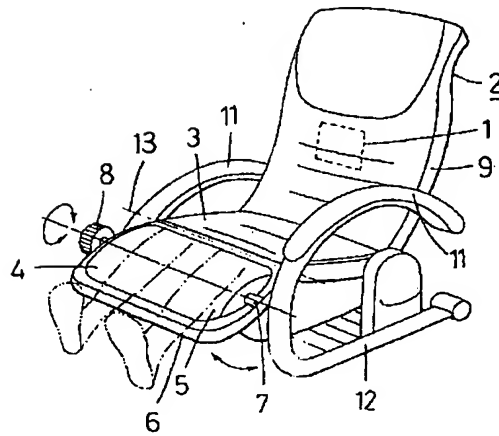
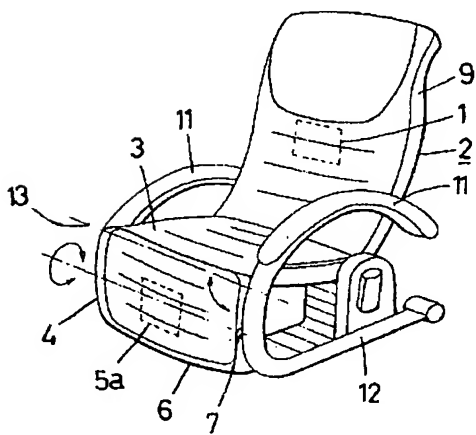


【図 3】



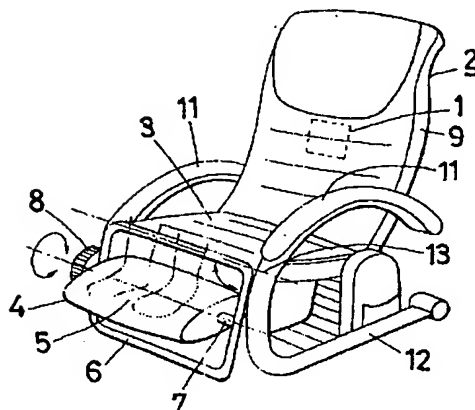
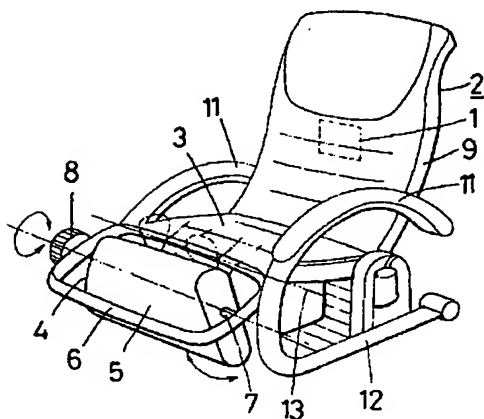
【図 5】

【図 4】

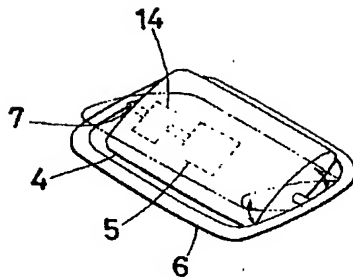


【図 7】

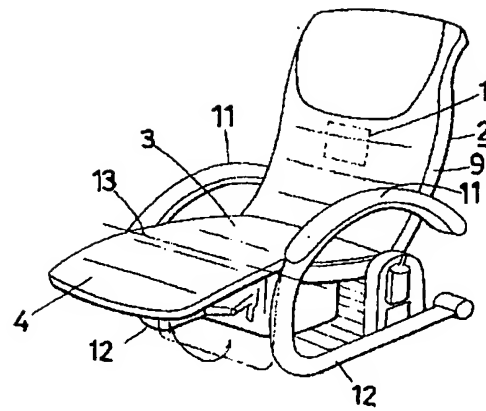
【図 6】



【図 8】



【図 9】



フロントページの続き

(72)発明者 北条 弘幸  
大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株  
式会社内  
(72)発明者 宮口 昌通  
大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株  
式会社内

(72)発明者 西尾 文宏  
大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株  
式会社内  
Fターム(参考) 4C074 AA03 AA04 CC01 CC05 CC13  
CC17 GG03  
4C100 AD11 AE11 AF04 AF07 BB03  
CA03 CA09 DA05 DA10 EA12  
EA13